

日欧プライベートコレクション  
**ロイヤル コペンハーゲンと北欧デザインの煌めき**  
アール・ヌーヴォーからモダンへ

展覧会概要

冬の長い北欧の国々では、家の中での暮らしを大切に、食卓を華やかに彩る食器などの生活雑貨に、美しいデザインを取り入れてきました。本展では、デンマークとスウェーデンに焦点をあて、19世紀末から20世紀の陶磁器、銀器、ガラス器を中心に、北欧デザインの魅力を紹介します。

デンマーク王立磁器制陶所を起源とするロイヤル コペンハーゲンは、上質な磁器の生産で早くから国際的な評価を獲得し、北欧アール・ヌーヴォーの先駆けとなりました。同時期に人気を競い合った窯のビング オー グレンダールで陶工としてキャリアをスタートしたジェンセンは、のちに銀製品で名高いジョージ ジェンセンを創業します。

一方のスウェーデンでは、北欧最古の陶窯とされるロールストランドが品格ある陶磁器を送り出してきました。また、同国スモーランド地方では古くからガラス工芸が盛んで、1950年代にはオレフォスやコスタといったガラスメーカーによって芸術性の高いガラス作品が生み出されました。

本展では、日欧の貴重なプライベートコレクションから約200点を選び、アール・ヌーヴォーからモダンへと連なる北欧デザインの流れに迫ります。

※「ロイヤル コペンハーゲン」の「ロイヤル」と「コペンハーゲン」の間、  
「ジョージ ジェンセン」の「ジョージ」と「ジェンセン」の間は半角アケにするようお願いいたします。

【展覧会名】「日欧プライベートコレクション ロイヤル コペンハーゲンと北欧デザインの煌めき  
アール・ヌーヴォーからモダンへ」(※省略不可です)

【会 期】2025年10月11日(土)～12月14日(日)

休館日:月曜日(10月13日、11月3日、11月24日を除く)、10月14日(火)、11月4日(火)、  
11月25日(火)

開館時間:午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

【会 場】群馬県立館林美術館 展示室2～4

【観 覧 料】一般830円(660円)、大高生410円(320円) \* ( )内は20名以上の団体割引料金

\* 中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料

\* 群馬県在住の65歳以上の方は平日のみ2割引

\* 10月28日(火)県民の日は無料

【主 催】群馬県立館林美術館

【後 援】デンマーク王国大使館、スウェーデン大使館

【企画協力】株式会社ブレイントラスト

※第49回県民芸術祭参加

本展の見どころ

**1. デンマークとスウェーデンを代表する陶磁器の名品が集結**

本展では、デンマークのロイヤル コペンハーゲンやビング オー グレンダール、スウェーデンのロールストランドといった、陶磁器ブランドの作品を多数展示します。これらは日本や欧州の個人コレクターによって収集された貴重な品々です。時代とともに変化してきた北欧の陶磁器の美の変遷を堪能できる、またとない機会となります。

## 2. 洗練されたガラス工芸の名品も展示、北欧の食卓を再現したテーブルセッティングも

スウェーデンのスマーランド地方で発展した名窯であるオレフォスやコスタなどによるガラス作品も、本展の見どころの一つです。透明感を活かした色彩や造形、また素材の特性を巧みに引き出した繊細な表現からは、現代にも通じるモダンな感性が感じられます。また本展では、北欧の食卓文化を体感できるよう、実際の使用シーンを再現したテーブルセッティングも展示します。

## 3. 本展に合わせた特別なイベントを開催

会期中、日本大学教授であり、陶磁器のコレクターとしても知られる塩川博義氏を講師に記念講演会を開催し、出品作品の魅力を伺います。他にも、たてび☆びじゅつ部として、オリジナルペーパーウェイトをつくるイベントを開催します。楽しみにご来場ください。

### 広報用画像



1.《皿〈ブルーフルーツ〉》ロイヤル コペンハーゲン ペインター:マティアス・ハンセン・ウォルストロップ 1785年頃 塩川コレクション



2.《花飾文花瓶》ロイヤル コペンハーゲン ヤニー・ソフィー・メイヤー 1910年 塩川コレクション



3.《金彩鷺ソースボート》ピング オーグレンダール デザイン:ピエトロ・クローン 1898-1914年 塩川コレクション



4.《プレーチ no.306》ジョージ ジェンセン ヘニング・コッペル デザイン 1947年、制作 1945年以降 個人蔵 Photo Michael Whiteway



5.《花瓶〈ソンメルソ〉》コスタ アーネスト・ゴードン 1954年 個人蔵 Photo Michael Whiteway



6.《花瓶〈クラカ〉》オレフォス スヴェン・パルムクヴィスト 1950年代 個人蔵 Photo Michael Whiteway



7.《獺蛙付筆皿》ロールストランド 1897-1910年 塩川コレクション



8.《ソースポットとプレート no.177、レードル no.141、プロッサムパターン》ジョージ ジェンセン ジョージ・ジェンセン デザイン 1916年頃、制作 1929年頃、制作 1931年頃(レードル) 個人蔵



9.《眠り猫置物》ロイヤル コペンハーゲン 原型:エリック・ニールセン 1923-1928年 塩川コレクション

会期中のイベント ※詳細・申込方法は当館ホームページをご覧ください。

◎記念講演会「ロイヤル コペンハーゲン、ビング オー グレンダールの魅力」

講師:塩川博義氏(日本大学教授・コレクター)

本展出品者であり陶磁器のコレクターでもある講師が、デンマークを代表する2つの陶磁器ブランドを取り上げて作品の魅力について語ります。

11月9日(日) 午後2時~3時30分 [申込不要・要観覧券・定員130名]

◎たてび☆びじゅつ部「青と白のきらめき~オリジナルペーパーウェイトをつくろう~」

誰でも気軽に参加できる造形体験コーナーです。今回は、あらかじめ整形し乾燥させた紙粘土に青と水色のペンを用いて絵柄を描き、ペーパーウェイトをつくります。

11月15日(土) 午後1時30分~3時30分 [申込不要・無料] \*自由な時間に参加できます

◎2025・ポンポン生誕170周年記念イベント第2弾

\*詳細はHP・SNSでお知らせします

○特集展示「ポンポンの故郷ソーリュウ」

別館「彫刻家のアトリエ」内で、ポンポンの生まれ故郷、フランスのソーリュウについて、現地の写真を交えて特集展示します。

10月11日(土)~12月14日(日)

○ポンポン・ツアー

当館人気のフランソワ・ポンポンの彫刻や公開資料について学芸員が解説、ポンポンの知られざる秘密に迫ります。

11月23日(日・祝)、午後2時~(約30分) [申込不要] \*参加記念品つき

◎学芸員によるギャラリートーク

展覧会担当学芸員による解説を聞きながら、作品を鑑賞します。

10月22日(水)、11月29日(土) 各日午後2時~(約40分) [申込不要・要観覧券]

◎たてび☆キッズウォーク

ワークシートを使ったクイズやゲームをしながら、自分のペースで自由に展示室を探検します。

10月25日(土)、11月22日(土) 各日午後1時~3時30分 [申込不要・中学生以下対象・無料]

\*自由な時間に参加できます \*参加記念品つき

【掲載用お問合せ先】

群馬県立館林美術館

〒374-0076 群馬県館林市日向町2003

TEL.0276-72-8188 FAX.0276-72-8338 <https://gmat.pref.gunma.jp/>

【プレス関係お問合せ先】

群馬県立館林美術館 〒374-0076 群馬県館林市日向町2003

TEL.0276-72-8188(代表)/8190(学芸員室直通) FAX.0276-72-8338

tatebi@pref.gunma.lg.jp

[展覧会担当]

学芸員 野澤広紀

[広報担当]

学芸員 伊藤香織

[広報担当]

教育普及員 齋藤久美子

※広報用画像をご希望の場合は、広報担当までお問い合わせください。